

2026.7.10(土)

26 年 MEC Rd.1 鈴鹿大会 SC 講習

MEC 事務局

■セーフティカーが導入されると

セーフティカーが導入されると、全てのオブザベーションポストで『SCパネルが』が提示されます。この時点で、コース全域で追い越しが禁止されます。セーフティカーを追い越すことも禁止されます。

全てのオブザベーションポストで「SCパネル」が提示される。
コース全域で追い越し禁止。



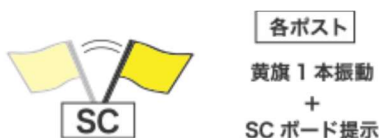
SC パネル

SCがコースインします。
ボードを見て急にスピードを落とさない
危険！
事故現場は黄旗も併用



セーフティカーは速度をコントロールして走行するため、周回を重ねると、セーフティカーを先頭とした競技車両の隊列がつくれます。

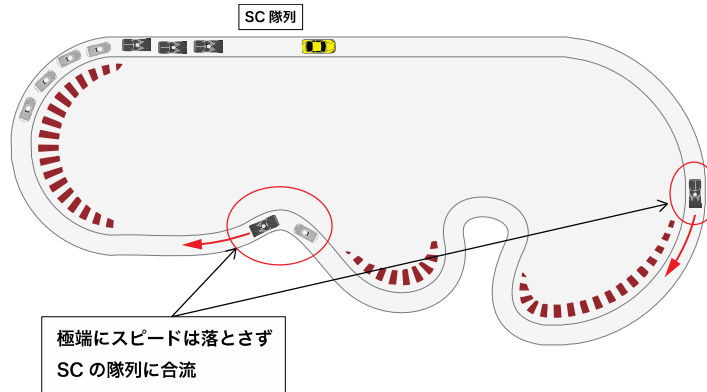
車両と車両の間隔は5車身以内で走行しなければならず、不必要に前後の間隔を空けて走行することは禁止されています。この時の隊列は1列で、リスタートまでこの1列の隊列は保たれます。



■SC 中の注意点

・SC の隊列に追いつくまでは安全な速度で速やかに隊列の最後尾に追いつき、隊列に加わる。

→追いつかずに低速走行してしまうと渋滞が発生してしまい、隊列がいつまでも整わないこととなります。



この時気をつけることとして、

・ブラインドコーナーの先に隊列渋滞が発生しています。
十分気を付けてください。



→(T9)ヘアピン手前、(T15)シケイン手前など、低速コーナー手前は特に気をつけてください。



セーフティカーオペレーション中のコースアウト・スピン・
追い越しなどは厳重に監視され重大なペナルティとなります。

セーフティカーの後方の車両がトップの車両ではない場合、セーフティカーはトップ車両を捕まえる義務がありますので、その車両を先に行かせるように合図することがあります。

セーフティカーが緑色の回転灯を点灯させているとき、直後の車両のみセーフティカーを追い越さなくてはならない合図となります。この時、セーフティカーの後ろを走行している車両はセーフティカーを追い越し、安全を保ちつつ速やかに隊列の後尾に追いついてください。

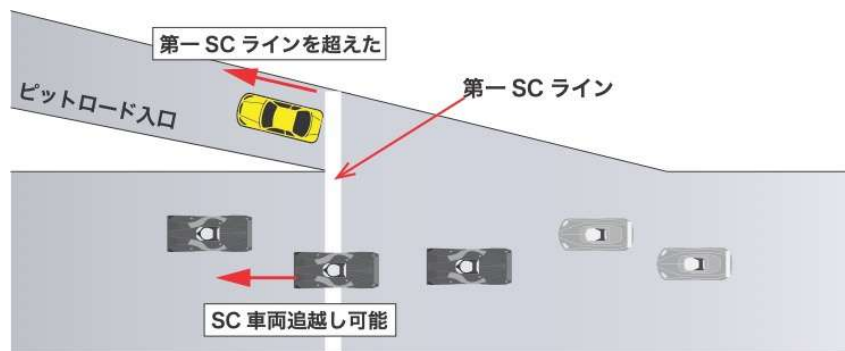
緑色 回転灯



■第1 セーフティカーライン

セーフティカーオペレーション中もピットに入る事はできますが、その時ピットロード入口付近に第1 セーフティカーラインが設定されています。ピットインしようとピットロードへ進入している車両はその第1 セーフティカーラインを超えたらセーフティカーを追い越しても問題ありません。(速度制限区域まで再加速しても良い)

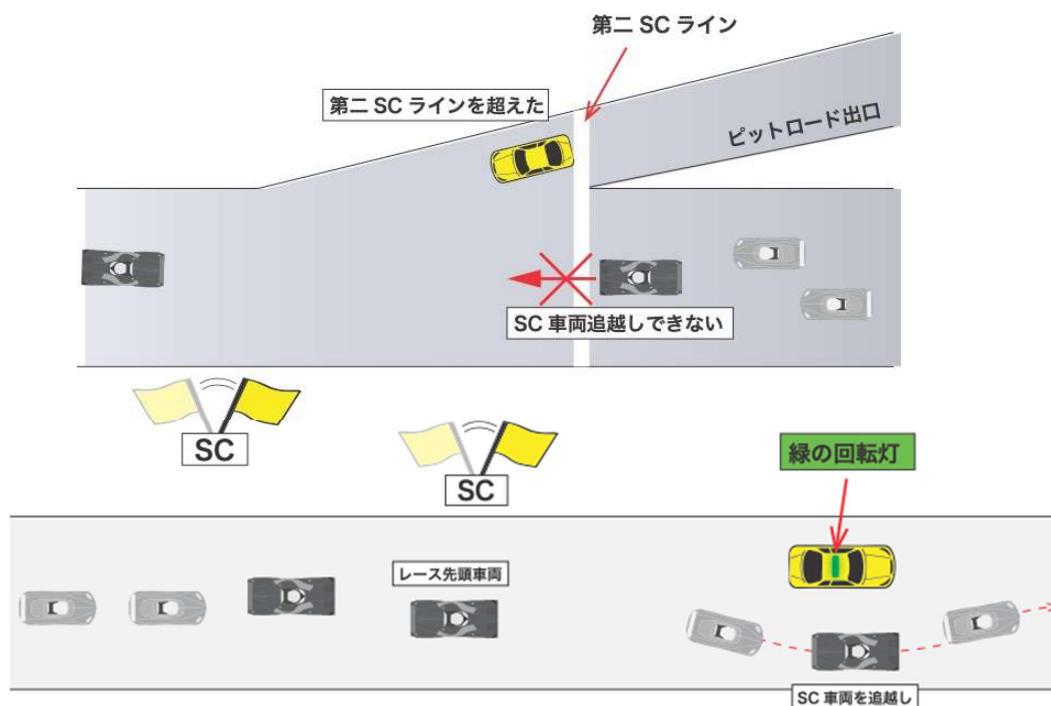
同様に、レース再開時にピットインしようとピットロードへ進入しているセーフティカーも第1 セーフティカーラインを超えたら追い越しても構いません。



■第2セーフティカーライン

ピットロード出口付近に第2 セーフティカーラインが設定されています。セーフティカー中にピットアウトしようとしている車両が第2 セーフティカーラインを超えたらコース上の車両はそのピットアウト車両を追い越してはいけません。

同様に、セーフティカー導入時にコースインしようとピットアウトしているセーフティカーが第2 セーフティカーラインを超えたら、コース上の車両はセーフティカーを追い越してはいけません。



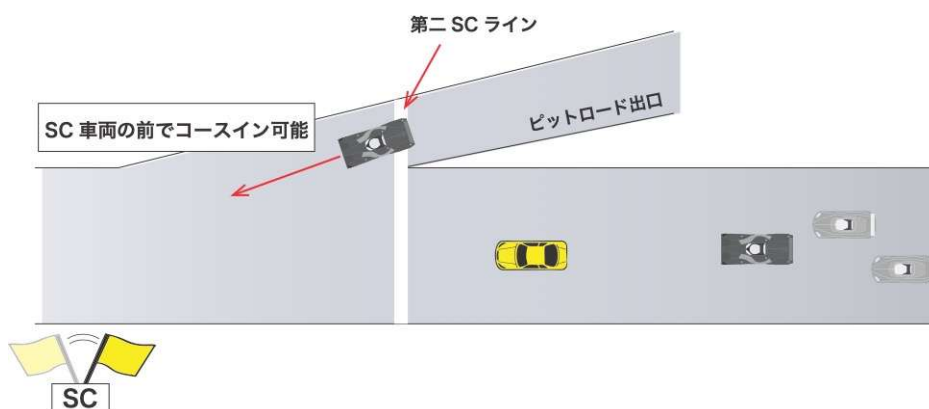
■ピットロード出口のクローズ

セーフティカーを先頭とする隊列がメインストレートを通過するときはピットロード出口のシグナルが赤色に変わります。シグナルが赤のときはピットアウトすることができません。シグナルが緑色になるまで、ピットロード出口で待たなければなりません。セーフティカーを先頭とする隊列が通過すると、シグナルが緑色に変わり、コースインすることができます。



・ピットアウトする際は必ずピット出口の信号を確認してください。

・コース上の車より先に第2 セーフティカーラインに到達したら、その車の前に入る事が出来ます。



■セーフティカーの解除

セーフティカーが回転灯を消灯します。この合図は、この周回の最後でセーフティカーがピットインをし、次の周回からレースが再開されることを意味します。ピットモニターでは『SAFETY CAR IN THIS LAP』の表示が出ます。

セーフティカーの回転灯が消灯しても、隊列をリードするセーフティカーとの距離を不必要に開けず、隊列は1列のまま追走してください。(MECの運用)この時、不必要に車速を変化させてはいけません。広報の追突事故を誘発する事に繋がります。

× 良くないリスタート



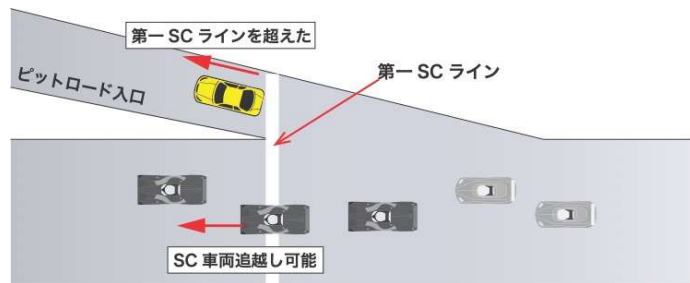
○ 良いリスタート



レース再開

セーフティカーがピットインすると全ポストでグリーンフラッグが振られます。

グリーンフラッグが振られていても、コントロールライン(またはスタートライン)を通過するまでは、追い越しが禁止されます。



セーフティカーが第 1 セーフティカーラインを超えた時点からコース上の車両はセーフティカーを追い越すことができます。

第一セーフティカーラインを超えるまで先頭車両は加速しません。それまでは加速、急減速に十分注意してください。

■SC 中こんな場合どうする？

コースアウトした。

本人 → 後方を確認しラインを外して、ゆっくりとコース復帰してください。

(SC中のコースアウト、不安全なコース復帰としてペナルティ対象になります)

後方の車 → 急にコース復帰してくることを想定しながら現場を通過してください。(追越してください。)
コース復帰してきた時点で追越しはしないでください。

スロー走行している。

スロー走行とはSCの隊列に追いつけない。ついていけない状態。

速度を保てない車両(追い越しをしてほしい車両)

→ ラインを外して速度を落とし、手を上げて後方に追い抜いてほしいという意思表示をしてください。
抜かれるまで手を上げておいてください。(場所はポスト手前が望ましい。)

意思表示された人

一定速度で追越ししてください。抜いた後に手を上げるなどしてください。

マシンが止まりそう。

すぐにラインを外して走ってください。

速度が保てないようであれば後方に追い抜くように意思表示をしてください。

必ずコース外に止めてください。

可能であれば開口部付近に止めてください。

事故現場や、コース上での車両撤去などの作業現場では、できるだけマーシャルから離れた位置で通過する事。



追越した！

SC中の追い越しとしてペナルティの対象となります。SC提示してから追越すまでの状況を確認して判断となります。

ただし**MECの運用として**

SCボード提示の直後

速度差が大きい場合や追い越し途中、並走などで急減速が危険な状況で危険回避で前に出ってしまった時は速やかに順位を戻してください。

(戻し方)

ラインを外して速度を落とし、手を上げて後方に追い抜いてほしい。という意思表示をする。